

NEWSLETTER

NO. 16 1996. 3. 31 新

歯科保健医療国際協力協議会

事務局：〒390 長野県松本市横田3-10-13 TEL&FAX：0263-39-1583
発行：村居正雄 編集：今出昌一 現会員数：193名

Japan Association of International Cooperation for Oral Health

私の名は「値切り魔」

カンボジア駐在スタッフ 大西直美

カンボジアに住み始めて半年。ほんの少しだが、当初一番の障害であった言葉もこの頃では面白くなってきた。

カンボジアの言語は、クメール語と呼ばれ23の母音と28の子音があり、さらに28の子音には足文字と呼ばれる文字がある。

その組合せで成り立っているのだから、物凄い数の文字が出来る。表音文字なのでその点は日本語と同じである。しかし同じ『こう』でも文字が4つ有り、全て発音の仕方が違うのでとても難しい。JAICOHのオフィスが入っているホテルのスタッフや語学学校の先生は、外人慣れしている為私の下手なクメール語も理解してくれる。

しかし、タクマウの村人にはちっとも通じない。『歳いくつ？ お名前は？』こんな簡単な言葉も通じないのである。こうなると、意地になってしまう。手、表情はもちろん、身体全部を使い表現して見る。

語学が堪能な人や、通訳を使えば1分で済む内容かもしれないが、30分もかけてようやく通じた時は、万歳をしたいくらい嬉しくなる。子供たちは、私の言っている言葉を真似する。そして友達になり、私の後を追ってきて車が見えなくなる時まで手を振ってくれた。もちろん私も同じことをしている。

また、最近セントラルマーケットにも行きつけの店ができた。ここも、訓練できる場所である。宝石などはとんでもない価格を言ってくる。まずは、半分の値段から交渉を始める。そして『3つ買うからまけて、また来るから。』それでも負けてくれない時は、じゃあと言ってその場を立ち去る振りをする。そうこうしながら、お互いの駆け引きの技を使い果して交渉成立。2年前から住んでいる一番仲良しの、通訳をしている友子さんも最近では『直美ちゃん、買い物行こう』と「値切り魔」の座を譲る。シクロ（現地

のタクシー）の値段も現地人並み。私は他の日本人も同様だと思っていた。しかし……。

一度味わうとなかなか止められません。最近では、お客さんを買物に案内して行くと御土産としてクロマー（カンボジアの伝統的スカーフ）を買う、もちろん値切り魔の腕を発揮して。すると店のお姉さんが『後で1枚あんたにあげるから』とまるでツアーコンダクター並みの扱いをされる。こういう時はラッキー。日本人からは『凄い。有難う』と褒められ、私はクロマー1枚獲得。店も儲かる。皆が嬉しいのである。こうやって、騙されつつ言葉の壁を崩していくのである。

報告会は悪天候にも拘わらず沢山の方にお出で頂きまして有難うございました。何分不慣れな上緊張してしまい、皆さんにご迷惑をおかけしてしまい申し訳ありません。また、この日のために色々ご苦勞をして下さった皆様に感謝いたします。私も皆さんに支えられていることをさらに自覚し、カンボジアでの生活を有意義に過ごしたいと思えます。またチャンスがある方は是非ハッパをかけにカンボジアまでいらして下さい。お待ちしております。



すっかり現地にとけこんでいる大西直美さん（中央？）

6ページにも大西さん撮影のカンボジアを紹介しています

◆◆カンボジア プノンペン大学

◆◆教員養成講座◆◆

埼玉県 宮田 隆

グループ「SAMURAI」。これが我々がカンボジアで行なっているプロジェクトのチーム名だ。名付け親は、Dr. Oum Saphanである。

「SAMURAI」という名には二つの意味が含まれている、とDr. Oum Saphanは教えてくれた。一つは日本人が中心になっているチームであること。これは分かる気がするが、もう一つがふるっている。「何たって、心がつながっている。つまり、侍スピリッツね」。

そうか、カンボジアの人たちにとって日本人の連帯感みたいなのを「侍スピリッツ」と理解していたのか！

そんな訳でこのプノンペン大学教員養成プロジェクトはこれからカンボジアをしっかりと復興して行くぞ、という元気な歯科医師たちの集まりとなった。無論、大酒飲みの二人の日本人歯科医師も仲間になって、である。

このプロジェクトはプノンペン大学における、今後の歯学部を担う教員を養成してほしい、というリクエストに基づいている。そして、長期戦略の中で、まず1995年から1996年にかけては歯周病学の教育のハウツーを技術移転することとなった。

このコースに選ばれた教員は当初8名(註1)。全員眼光鋭く、多くの戦を勝ち抜いてきた猛者連中ばかり…、と思いきや、人は良さそうだが、どちらかといえば気弱なインテリっぽい奴等ばかり、どこが侍なのか。「髭」の日本人侍(註2)などは、早速、習いたてのクメール語でご機嫌を取ろうとするが、ニヤニヤするだけでまるで反応がない。やれやれ、先が思いやられるな……。これは「眼鏡」の日本人侍(註3)の吐息…。

しかし、いざはじめてみると彼らのやる気はすごかった。

一言も聞き漏らすまい、と我々の講義に耳と目を傾け、そして活発なディスカッション。これはすごいぞ！日本の二人の侍は思わず絶句。講義と実習を中心とした最初のコースは四月の猛暑にも、停電にも、スライドプロジェクターの暴発にもめげずに続いた。

そう…、第1回目のコースも終わりに近づいた頃、「髭」と「眼鏡」の侍は暗闇の中、リージェントホテル205号室(註4)の影に怯えながら、相談したね。池田先生や半田先生には語学やNGOの経験とセンスでは負ける。何か俺たちである気取った二人に勝つものは、と。「髭」が叫ぶ。酒だ！俺たちには酒しかない！早速グループ「SAMURAI」のメンバー全員を招待して、飲みや歌えの大宴会。「髭」は得意のクメール語で周囲を笑わし、「眼鏡」は他に能もないので一気飲みをして周囲を呆れさせた。しかし、これがよかった。あの、シャイで気弱な連中は、しゃぐこと、はしゃぐこと。

その翌日……。二日酔いにもめげず、10分遅れで全員集合。

心が完全に開いていた。目が我々を「仲間」として見ていた……。

「髭」がポツリ「来て、よかったすね」

眼鏡「君のお陰さ」

髭「なにをおっしゃる……先生の一気飲みのお陰ですよ」二日酔いに倦んだ脳を揺すりながら、日本の二人の侍はとぼとぼとプノンペン駅の横を通り過ぎるのであった。

さて、このプロジェクトは1995年に3回、そして1996年に1回行い、最初の「歯周病学」に関するコースは終了した。1995年は4月、7月そして11月に実施した。第1回は歯周組織と若年性歯周炎などについて講義を中心に行った。このときは、我々以外に明海大学から、人が参加してくれた。7月は主に歯周病の疫学について講義と実習を行なった。これは、将来カンボジアの歯周病に関する実態調査をこのグループで行えるようにするための企

健康適用品 硬質レジン歯

美・強・耐が調和の
エンデュラ

審美性、強度、耐久性、すべてが高いレベルで調和します。

<p>エンデュラ アンテリア(前歯)</p> <p>承認番号 61日第1052号</p> <p>6歯1組 ¥720</p> <ul style="list-style-type: none"> ●形態・上下顎各20形態 ●色調・14色(102,104,106,108,109,110,112,114,116,A2,A3,A3.5,B2,56) 	<p>エンデュラ ポステリア(臼歯)</p> <p>承認番号 62日第399号</p> <p>8歯1組 ¥1,040</p> <ul style="list-style-type: none"> ●形態・上下顎各6形態(S28,S30,S32,M28,M30,M32) ●色調・5色(65,66,67,70,76)
---	---

1994年3月現在の医院価格(消費税抜き)

株式会社 松風

本社 ●〒605京都市東山区徳橋上高松町11 TEL.075561-1112(代)

もう少ヘッドの細いEXslimheadを欲しい。



EXslimhead キーワードは歯周病です。

株式会社 ライオン歯科材料株式会社

画であった。11月は前半が歯周外科の講義と実習を行った。特に歯周外科の実習は、実際の患者を使い、グループのメンバーが各自実習を行った。後半は咬合治療と暫固固定について講義と実習を行った。この第3回目は、寄贈する実習器具や本などでダンボールが11箱にもなってしまった。それを税関の厳重なチェックにもめげず運んだこと、初めての歯周外科の経験に侍たちが目を白黒していたのも、今は淡い、しかし楽しい思い出だ。我々以外に明海大学から3名が手伝ってくれた。

さて、我々の一見宴会ばかりしていたように見えたこのプロジェクトも、本年1月9日から開催された第5回National Oral Health Conference(註5)で大きく結実したように見えた。というのも、このカンファレンスは設立したばかりのカンボジア歯科医師会とWorld Concernとの初めての共同開催であり、そして、ラナリット第1首相を来賓としてお呼びし、お言葉をいただくなど、記念史的大事業であったからである。その準備委員に我が「SAMURAI」のメンバーが中枢として活躍しているのである。

その記念すべき晩、この会議に参列したラナリット第1首相の演説をラジオで聞きながら、我々は湧き出したね……。そして、思わず連中を抱きしめて、言った。

「コン……ガチュ……レーション」

そしてまた、我々は愛すべき「SAMURAI」連中を引きずり回しながらブノンペンの町を夜更けまで徘徊したことは言うまでもない。

更に、1996年2月の最後のコースは、骨の代謝、インプラント、そして歯周治療のメンテナンスについて講義と実習を行った。この時は、明海大学の国際交流委員長の久米川教授、そして河津寛法人評議員が参加して下さり、明海大学とブノンベン大学両校のBilateral Relationshipの締結を行った(註6)。おそらく1997年を最後にブノンベン大学から撤退するWo

orld Concernにかわって、物質面および人材養成で明海大学が協力しましょう、というものである。

この締結式には、ラナリット第1首相の内閣官房長官であるLy Thich氏、厚生省事務次官Dr. Naron Rith氏、日本大使館一等書記官のShigemitsu Tsukamoto氏、そして医学部、薬学部の両学部長が出席するなど大変盛大なものであった。そして、歯学部の大講義室の横には、「日本とカンボジアの永遠なる友情を」と書かれた大垂れ幕が掲げてあり、歯学部における日本への期待を感じさせたのである。我々JAICOHの活動がこういう形で結実して行く過程には、わずかつではあるが、我々の医療貢献が確実に前進している実感に、喜びを禁じえない締結式であった。

註1：参加した教員は第3回目から2人増えて10名となった。

註2：「髭」とは昭和大学歯学部歯周病学教室の鈴木基之講師のこと。中国語とクメール語が堪能。既往症はA型肝炎と水虫、脱腸、痔など。

註3：「眼鏡」は明海大学歯学部歯科臨床研究所の宮田隆助教授のこと。上海訛りの中国語を少々。既往症としては、一通りの成人病以外に最近では膝関節挫傷(ブノンペンでサムローから落ちて怪我をした)。

註4：リージェントホテル205号室とはJAICOHのブノンペン現地駐在員事務所のことである。いつもここでJAICOHのLiaison Officer, Dr. So Po Kimbが不良日本人の監視にあたっている。最近はこの監視役に日本から大西直美歯科衛生士が参加してより強固な体制になったと聞く。

註5：このカンファレンスには日本から宮田、半田、池田の3名が特別スピーカーとして招待され、それぞれ90分の講演を行った。

註6：このBilateral Relationshipでは、とりあえず1996年から1997年にかけてブノンベン大学教員の明海大学への留学、教育実習機材、特に不足している顕微鏡など基礎医学に関する機材の提供、そして我々が行ってきた、学生教育に関する技術移転の3点について実施する予定である。

(明海大学歯学部・歯科臨床研究所)

HOME CARE®ですこやかに

歯と歯ぐきにやさしい



ホームケア歯ブラシでホームケア

株式会社 永山 〒569 大阪府高槻市宮之川原4-19-3
TEL (0726)88-4188/FAX (0726)88-8858 0120-118418

歯科衛生士国際シンポジウムで 活動を発表

JAICOHの活動を歯科衛生士の会員2名が第13回歯科衛生士国際シンポジウム(1995年11月24日、東京)で、発表しました。

広野澄子会員(福井県)のグループは、今までのJAICOHでの活動経験から、歯科衛生士の専門性を国際協力の中でいかに活用していくかをポスター発表した。

柴田享子会員(愛知県)のグループは、プロジェクトの計画立案に必要な現地のニーズ把握やマンパワーの育成などを住民の参加の元に進めていく方法について、カンボジアでの経験より口演発表した。

第13回歯科衛生士

国際シンポジウムに参加して

滋賀県 三浦 淑子

日本では20年に一度の開催ということで数多くの発表があり、興味深く参加できました。

パネルセッションでは、各国のプレゼンテーションの中でイタリアのチャート類は陽気さやカラーが特に素晴らしく、印象的でした。

JAICOHのパネルは、未熟ながら私も1992年にカンボジアに参加させて頂いた者としては懐かしく、Dr.はじめ皆様の御努力の賜がパネル上にもパンフレット上にも現れていたと思います。

しかし、イタリアのチャートに比べディスプレイの仕方やパンフレットの置き方、説明等が、見る人、聞く人に興味を持って頂ける様な工夫がもう少し欲しかった様に思いました。そうすれば、もっと賑やかに種々の質問が飛び交ってくれたのではないかと思います。

また、私自身はJAICOHの会員として、JAICOHの発表がある事を周りの人にもお知らせしておき、JAICOHの主旨や、今までやって来た事を多くの方に知って頂き、興味を持って見て頂ける様に協力したいと思いました。

発表者の方、御苦勞様でした。

(歯科衛生士)

カンボジア報告会の報告

日本各地で大雪のニュースが伝わる2月18日、名古屋は肌刺す北風とみぞれ混じりの雨が降っていた。名古屋のお城も雪景色、真っ白になったお堀を横手に見ながらぬかるんだ道をソロリソロリと「見る 聞く 味わうカンボジアー私の生活体験からー」と銘打った大西直美スタッフのカンボジア報告会の会場に向かった。

カンボジアの民族衣装に細身を包んだ大西スタッフは、住み始めの頃の戸惑いから最新の現地事情までを聞かせ、スライドで見せてくれた。その後の参加者を交えたフリートークでは、外国で生活する、それも途上国で長期間となると私たちが考えてた以上に大変であると肌で感じられた。でも、刺激的な生活を送るのがうらやましく感じた人もいたようだった。

最後は、40名近い参加者が民族音楽の流れる中で暖かい飲物とカンボジアのお菓子を味わいながら、展示の写真・パネルを見たり、カンボジアの民芸品などを触ったり(販売も行われていたので買えもした)しながら、参加者同士の交流を深める時間となった。

大西さんの帰国報告会の手伝いをして

愛知県 河内 洋順

この会で、企画の段階から会の締めくりまで、貴重な体験をさせて頂きました。JAICOHの柴田さんを始め、池田氏、歯科衛生士の方々には、活動を通していろいろと勉強させて頂きました。

一つの会を開くのに、いろいろアイデアを出しあい、思考錯誤しながら、皆が一つにまとまり、そのプロセスに結果を出す。会が終わった後の充実感のわかち合い、大学の中にいるだけでは決して得られなかったと思います。

新聞やTVでも正確な情報を得ることが難しい現状で、実際にカンボジア在住の大西さんの話を聞く事ができ、自

ベストセラーの モデルチェンジ

歯槽の修理やデンポラリーク라운、レジン個歯トレーの製作などで好評のユニファストがさらにレベルアップして新登場。従来の常温重合レジンと比べていた色調の不安定性、重合時の変形を群やかに解決。黄変や色調の経時変化を極限まで抑えました。

(テックの製作が迅速・簡単に)
(優れた色調マッチングと耐変色性)

超速硬化性常温重合レジン

ユニファストII

スターターセット(3-1P)

承認番号08日第0822号

内容・価格 ●1缶(粉末35g入 A2, A3, H2) (ライピンク)各1本、速100g(104ml)本、ラバーカップ2個、粉末計量器1個、液計量器1個、プラスチックヘラ1本、小箸1本、逆絡ノズル付キャップ1個、カップホルダー1個=¥9,900
●各罐の病院送付価格は、95年4月現在のものです(消費税は含まれません)。

株式会社 シーシー 本社/東京都板橋区蓮沼76-1 〒174 TEL(03)3965-1221
GC DIC/東京都文京区本郷3-2-14 〒113 TEL(03)3815-1511

カンボジア最新見聞録



このあとけない様を見て下さい。水面の広がり、この大らかさを見て下さい。そしてこの見事な、生活の知恵が結実して出来上がっている商店を見て下さい。これがカンボジアです。ここにはいま、日本人が忘れてしまった「何か」があります。ぜひ一度「何か」を求めて訪ねて下さい。



編集後記

広報を担当して、この編集後記が毎回苦であり、楽しみでもあった。日常のちょっとした事でも「よしっ！これは使えるゾ！」と、たくさんストックしておいたはずなのに、いざ、これで最後となると出てこない……。

こんな私とコンビを組まれた今出先生、歯科ペンクラブの羽中田さん、頼りっぱなしですみませんでした。

お忙しいなか原稿を書いてくださった皆さん、ありがとうございました。そして、まだ登場していないあなた！！広報（NEWS LETTER）はあなたを待っています。

駒津めぐみ

前号の大チョンボ“見慣れない封筒での発送”にはさすがに皆さんも驚かれたようで、かなりの反響がありました。事の顛末説明しますと、ニュースレターの編集・発行を本当に支えているのは歯科ペンクラブのプロの編集者。僕は原稿を書いてもらい、集めては歯科ペンクラブへ送るだけ。あとのレイアウトから発送までは‘お・ま・か・せ’状態です。前号は、僕が封筒の手配を忘れて、歯科ペンクラブさんのを借用させてもらった訳、そう！言い訳です。

編集の手の内公開しましたが、ホンマ楽しんでます。という事でもないのですが、編集部員大募集中です。書くことが好きな人。ワープロが打てる人。イラストが描ける人。何もできないと思っている人でもOKです、なんせ僕でもやれましたから気楽に申し出てください。多少のヘマは、僕が先例を作ってますからご心配なく。あなたも楽しくチャレンジしてみませんか。

とにもかくにもドタバタ騒ぎで明け暮れた僕の担当、今号が2年間の区切りです。毎回迷惑かけっぱなしの歯科ペンクラブ・羽中田さん、無理言ってご執筆いただいた方々はじめ会員の皆さんが、これに懲りてジャイコーを見捨てることなく、気分一新「じゃあ行こう！」とこれからも活動をもっともっと盛り上げてくださるようお願いします。

今出昌一

すみません、私からもひとこと。少しでも何か役に立つことがと、村居先生からのお話に「頑張ります！」と二つ返事で引き受けたのは良いけれど、アレやらコレやら穴の五、六は必要な失敗ばかり。加えて折角担当の今出先生が皆さんを脅かして原稿を集めてくださったのに、私の作業がノロくって…発行予定に間に合わないことしばしば。本当にごめんなさい。それでも「頑張ります！」の羽中田です。

歯科ペンクラブ 羽中田元美（はちゃうだ・もとみ）

